

### 日本技術士会北海道本部 青年技術士交流委員会 公開講演会 「技術士・技術士補による知的書評合戦 ビブリオバトル 2021」

#### 1. はじめに

青年技術士交流委員会では、「技術士・技術士補による知的書評合戦ビブリオバトル 2021」と題して、技術士の知名度向上や一般の方々との交流を目的とした公開講演会を開催しました。

公開講演会は例年、紀伊国屋書店札幌本店のイベントスペースで開催していたイベントですが、2020年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021年もオンライン形式で開催しました。

#### 2. 公開講演会の概要

公開講演会でのビブリオバトルの実施は4年連続4回目となります。ビブリオバトルとは、誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。①お気に入りの本について発表する(5分間)、②質疑応答によって発表者と聴講者で議論する(3分間)、③投票により「一番読みたくなった本(チャンプ本)」を決定する、という手順で進行します。

本イベントでは「ポジティブチェンジ」というテーマを設け、技術士・技術士補が読んで「ポジティブチェンジ」するきっかけとなった本を持ち寄ってビブリオバトルを実施しました。

第1部の予選会で8名の発表者を5名に絞り、第2部の決勝戦では、予選を勝ち上がった5名の中からチャンプ本を決定しました。決勝戦は、一般の方にもビブリオバトルの様子を見ていただくとともに、質問や投票を受け付けられるようにZoomウェビナーとYouTube-Liveによる配信を行いました。

●日時：2021年12月18日(土)13:00～16:30

●場所：(予選会)Zoom ミーティング  
(決勝戦)Zoom ウェビナー、YouTube-Live

●発表者参加人数：8名

●第1部：(予選会)13:00～14:30

●第2部：(決勝戦)15:00～16:30

#### 3. 第1部：予選会

第1部の予選会は、2グループ(4名/グループ)に分かれて行い、発表者は決勝進出をかけて「ポジティブチェンジ」するきっかけとなった本について熱く語り、聴講者は発表された本について質問を投げかけ、それぞれ時間の限り議論を交わしました。

発表に対して、「この部分についてもう少し詳しく知りたい!」、「この本を手にとったきっかけは?」、「印象に残った箇所はどこですか?」などの質問が寄せられ、5分間では語り切れなかった部分まで掘り下げることによって、より一層発表された本への理解を深めていました。



写真-1 ビブリオバトル予選会(Aグループ)の様子



写真-2 ビブリオバトル予選会(Bグループ)の様子

どの本も興味を引くものばかりで、決勝進出者を決めるにあたって両グループはかなり苦戦をしていましたが、以下の5名(5冊)が決勝戦に進むこととなりました。

・Aグループ勝者：小澤技術士(技術者のミライ研究委員会)

～「感情的にならない気持ちの整理術」

・Aグループ勝者：仁義技術士補(北海道本部 青年技術士交流委員会幹事)

～「レジの行列が早く進むのは、どっち!？」

・Aグループ勝者：高野技術士(北陸本部 青年技術士交流委員会)

～「サピエンス全史 文明の構造と人類の幸福」

・Bグループ勝者：阿部技術士(北海道本部 青年技術士交流委員会幹事)

～「森が消えれば海も死ぬ」

・Bグループ勝者：高木技術士(統括本部 青年技術士支援委員会)

～「レジの行列が早く進むのは、どっち!？」

#### 4. 第2部：決勝戦

第2部の決勝戦は、過去3回のビブリオバトルにはなかった新たな戦況となりました。この世にある数多の本の中から選ばれ、それぞれのグループから予選会を勝ち上がり、同じ本が決勝戦に並んだのです。

同じ本であっても、違う本であっても、その本を紹介したい理由は人の数だけあります。5名の発表者はそれぞれのアプローチ、プレゼンテーションで

聴講者の興味を惹きつけました。

そして投票の結果、高野技術士の「サピエンス全史 文明の構造と人類の幸福」が「技術士・技術士補による知的書評合戦ビブリオバトル 2021」のチャンプ本に輝きました。



写真-3 優勝した高野技術士へ景品贈呈

この紙面では残念ながら発表いただいた本の魅力をお伝えすることはできませんが、技術士・技術士補が「ポジティブチェンジ」するきっかけとなったオスズメの本について、気になった方はぜひ手に取ってご一読いただければと思います。

#### 5. おわりに

新型コロナウイルスの影響で引き続きオンライン形式での開催となった公開講演会でしたが、オンライン形式であったことで他地域からも参加者を迎え、イベントを通して交流する機会となりました。対面には対面の良さがあり、オンラインにはオンラインの良さがある…物事の良い面を捉えて活用していくことも「ポジティブチェンジ」ではないでしょうか。

「人を通して本を知る、本を通して人を知る」というビブリオバトルのキャッチコピーの通り、紹介した本や発表からイベントに参加いただいた一般の方々「技術士・技術士補」がどんな人なのか少しでも伝わっていれば幸いです。また、普段自らは手に取らない本を知るきっかけとなったり、紹介した本や抱いた感想から新たな一面を知ることができたり、技術士・技術士補同士も様々な気づきを得られたイベントであったと思います。